

竜の眼

編集方針

- ①会員の自由かつ達な意見交換の場
- ②オンブズマン活動の発展に貢献
- ③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第8号 2004.4.1発行

仙台市民オンブズマン・タイアップグループ
仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F
宮城地域自治研究所内
TEL022(227)9900 FAX022(227)3267
<http://homepage3.nifty.com/s-ombuds/>
e-mail:s-ombuds@nifty.com



もうすぐ春ですね♪ 今年はやっぱり「春うらら♪」 撮影:三塚芳徳



福岡県警でも裏金疑惑
元警部「捜査費を流用」
交通違反も消し資
勝負はいよいよ本番
である。タイアップ
の皆さんの傍聴を期
待いたします。

やつぱり 警察も黒だつた ついに追い込んだ オンブズマンの粘り強い追及で

仙台市民オンブズマン

弁護士 小野寺 信一

各地で吹き出している警察の不正経理の報道に接し、「ようやくここまで来た」との感を深くしている。仙台市民オンブズマンが全国に先駆けて警察の不正経理の問題を追求できたのは、警察が情報公開の実施機関になる前に、「警察といえども経理書類は知事のものだ」との判決を引き出し、知事ルートを開設したからである。食糧費、旅費、報償費の3点の報償費が証人尋問に入り佳境をむかえた。

旅費については6月14日午後1時30分に4人の職員の尋問を、報償費については5月25日午前10時30分～12時に道警の不正を内部告発した原田氏の尋問を行う予定である。警察署は、「おまえらの不始末は、おまえらで始末せい」というトカゲのしつぽ切りと、感染の拡大防止に躍起になっている。しかし、警察不詳の元凶は、この不正経理にあると私達は考えている。部下に不正経理を指示し、税金をポケットに入れるなどを何とも思わない上司の下で、警察官としての誇りが育つはずがないからである。元凶にとどめを刺し、勇気ある内部告発者を孤立させないため、全国市民オンブズマン連絡会議は3月27日、仙台市民オンブズマンなどの提案を受け、全国一斉情報発の受付窓口を設置することにした。全容の解明なくして再発防止なし。

勝負はいよいよ本番である。タイアップの皆さんの傍聴を期待いたします。

オンブズマン 支援企画が おこなわれます

2004年
10月20日(水)
18:30～
仙台市青年文化センター
シアターホール

支援企画の催しを募集していますので、推薦があつたら、ご連絡ください。

現在出ているのは、奇術、ゴスペル、ピアノと馬頭琴、インド楽器「サーランギー」演奏、合唱、タップダンスなどです。4月と6月の例会で絞り込みますのでよろしくお願いします。

タイアップ
グループ例会

4月6日(火)
6月1日(火)

どちらも18:30～
宮城地域自治研究所で。

ひろば

この欄は皆さんの意見
交換のスペースです。
投稿をお待ちしています。

地下鉄東西線は なぜ急ぐ?

昨年4月15日に提起した仙台市地下鉄東西線整備事業への公金支出の差止訴訟

も皆様からのご協力ご支援いただきながら、期日を重ね、仙台市の計画の杜撰さが一層明らかになってきてています。

●需要予測11万9000人(1日)は

達成不可能である

仙台市の計画では1日当たりの需要予測は、11万9000人とされています。しかし、この予測は余りに杜撰で、到底達成不可能な数字と言わざるを得ません。

①右肩上がりの人口増加は終わっている
仙台市は東西線開業時(平成27年)へ向けて人口増加を前提としているが、すなわち、

2年連続の社会減を記録していることや出生率の低下等から今後は人口減が予想されること。

②東西線沿線に予想人口ははりつかない
仙台市は東西線沿線に約3万200人もの人口が張り付くことを前提としているが、これは東西線沿線に毎月90戸規模の大型マンションが次々建設され即完売・入居しなければ達成されないものであり、不可能であること。

③東西線利用予定者の人数・地域が不合理的まりない
仙台市の計画では人口

が減少している追廻地図で69人の増加地域に算入するなど、不合理極まりないこと。など一見して指摘できる問題からみても、仙台市の需要予測が達成不可能であることが理解できます。

●証人尋問へ

以上の需要予測の杜撰さを立証するため、当方からは大内秀明教授を証人申請し、さらに、小野寺信一代表を中心にして仙台市の需要予測の杜撰を立証するための膨大な分析・調査を進めております。東西線計画の杜撰さの核心をつくもので必見ですので、是非、傍聴いただければと思います。

●今後の主な活動・裁判日程

●4月10日(土)午後2時から
(裁判)

「それでもやるの?東西線
見えてきた破綻の構図」

仙台市民オンブズマンがえぐる
「地下鉄東西線」裁判報告

●5月8日(木)午後1時30分から
(裁判)

「裁判・証人尋問予定
見えてきた破綻の構図」

●5月11日(火)午前11時30分から
(裁判)

「見えてきた破綻の構図」

4月10日(土)午後2時より
仙台弁護士会館4階大ホール

美しい仙台を創る会監修パートの! 仙台市民オンブズマン共催
見えてきた破綻の構図...
仙台市民オンブズマンがえぐる地下鉄裁判報告
「それでもやるの? 東西線」

白い巨塔の黒い金

仙台市民オンブズマン 弁護士 坂野智憲



この人に聞く

これって



1. 公立病院からの研究助成金受入

東北大学大学院医学系研究科等では、平成10年4月1日から平成15年9月1日までの間に、公立病院から総額1億254万円を研究助成金等の名目で受領していた。4132万円は医局などが直接受領し、1229万円は医局が学会事務局として受領し、7183万円は艮陵医学振興会を経由して受領した。そして医局などが受領した4132万円のうち2930万円は国庫に納付せず医局限りで研究費などに使用された。

4. 医局の位置づけ

東北大学大学院医学系研究科、診療科等は教員・学生の教育、研究、診療の機能を担うものとして設置されている。そして医局は基本的にそれぞれの研究科、診療科の主任教授を長として医局員によって組織されている。教授はじめ医局員は大学内で、大学の施設・機材を使って勤務時間内に教育、研究、診療を行って

いる。ではそれらは大学機関としての活動なのか、それとも任意団体としての医局の活動なのであるか。任意団体にそのような資格があるうは

この点について東北大学は、医局・同窓会が直接受領した寄付金について、医局・同窓会は大学とは別の任意団体であるから地方公共団体から寄付を受けても問題ない。艮陵医学振興会を経由して受領した寄付金については、艮陵医学振興会は大学とは別の財團であり、この財團が地方公共団体から寄付を受けることも、受けた寄付金を大学が受け取ることも問題ないとする。

3. 東北大学の主張

この点について東北大学は、医局・同窓会が直接受領した寄付金について、医局・同窓会は大学とは別の任意団体であるから地方公共団体から寄付を受けても問題ない。艮陵医学振興会を経由して受領した寄付金については、艮陵医学振興会は大学とは別の財團であり、この財團が地方公共団体から寄付を受けることも、受けた寄付金を大学が受け取ることも問題ないとする。

5. 財団法人艮陵医学振興会に 対する寄付

同財団は、1980年に設立され、その事務所は東北大学医学部内にあり、そこの理事は主として東北大学医学部の教授らで構成され、現在玉井信医学部長が会長を務める同医学部の外郭団体である。同財團に対してなされた本件寄付金は、助成先の研究項目や学会名を病院側が記し、それぞれ金額を書き込んで上記財団に提出し、財団は7パーセントの管理運営費を差し引いた後それぞれの研究を受け持つ医局に渡す方式であって、相手方医局を指定した寄付となっていた。したがって財団法人に対する寄付という形式はとっているものの脱法行為であり、本件寄付は地方財政再建促進特別措置法2

条2項に違反する。

いる。ではそれらは大学機関としての活動なのか、それとも任意団体としての医局の活動なのであるか。任意団体にそのような資格があるうは

ずはないから当然大学機関としての活動と考えざるを得ない。たしかに医局には医師の生涯教育・同窓会的機能があり、大学組織としての医学系研究科、診療科を超える側面があることは否定できない。しかしこと研究・教育・診療という場面では医局の活動は正に医学系研究科、診療科の活動そのものなのである。そのような存在に対する寄付は、東北大学の組織としての医学系研究科に対する寄付と観念されねばならない。

6. 医師派遣の見返り

上記の適法違法の問題をしばらくおいて、公立病院の多くは大幅な赤字を抱えており、そもそも大学に対して研究助成金を寄付できるような財政状態ではない。にもかかわらず何故1億254万円もの研究助成金を寄付しているかといえば、医局のご機嫌を損ねたのではなく、医師派遣を受けられなくなるのではないかという危惧感からである。しかしこの点も本来国立大学は国費で医師を養成しているのであり、大学にもそこで教育研究を行っている医師にも、地域医療に貢献すべき社会的責任があるのである。公

立病院への医師派遣に協力すべきは当然であつて見返りを求める筋合いのものではない。



オンブズマンVS!!!

裁判を傍聴しましょう

各裁判では5月から証人尋問がつづき行われます。

大法廷での裁判もあるのですが、傍聴席がガラガラでは弁護団も、気合いが今ひとつ。丁々発止のやりとりを大勢で傍聴いたしましょう。ぜひ、時間をつくっていただき裁判所へ足を運んでください。日程は次のとおりです。

- 1. 5月10日(月)** 仙台市議会「政務調査費」について①
「みらい仙台」「自民」「社民」の各会派の尋問
10:30~16:30
- 2. 5月25日(火)** 北海道議会で生々しい証言をした元北海道警察
釧路方面本部長原田宏二さんの証人尋問
10:30~12:00
- 3. 6月14日(月)** 警察旅費について、当時の職員4人を証人尋問します
13:10~16:30
- 4. 7月8日(木)** 地下鉄東西線。大内秀明東北大学名誉教授。仙台市が発表している地下鉄の需要予測を徹底的に斬る。
13:30~16:30
- 5. 7月12日(月)** 仙台市議会「政務調査費」について②
「民主フォーラム」「公明」「グローバルネット」の各会派の尋問
10:30~16:30

※なお、日時が急に変更となる場合があります。
念のためオンブズマン事務局 TEL 022-227-9900へ

今年の全国市民オンブズマン全国大会は

8月28日(土)・29日(日)
北海道 函館です

第11回となる全国大会は、私たちと同じ「北海道・東北ブロック」の函館を会場に開催されます。昨年の仙台大会にも、函館から大勢駆けつけてもらいました。ぜひ恩返しをしたいものです。ツアーの企画も計画しますので、日程を確保ください。